

平成 19 年 7 月 23 日

各 位

東京都港区赤坂一丁目 1 1 番 4 4 号  
株式会社リサ・パートナーズ  
代表取締役社長 井無田 敦  
(コード番号：8924 東証1部)  
問合せ先 取締役 経営戦略部長 岡本 浩和  
電話番号 03(5573)8011(代表)

平成 19 年 12 月期中間期業績予想の上方修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 19 年 2 月 9 日付にて公表した平成 19 年 12 月期中間期の業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 中間期業績予想の修正(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結中間期業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,097	1,986	1,472
今 回 修 正 予 想 (B)	11,100	2,650	1,750
増 減 額 (B-A)	3	664	278
増 減 率	0.0%	33.4%	18.9%
(ご参考)			
前期実績(平成 18 年 12 月中間期)	8,210	1,878	1,131
増 減 率	35.2%	41.1%	54.7%

## (2) 個別中間期業績予想

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	10,656	1,992	1,143
今回修正予想 (B)	9,600	2,550	1,600
増減額 (B-A)	▲1,056	558	457
増減率	▲9.9%	28.0%	40.0%
(ご参考)			
前期実績 (平成18年12月中間期)	7,665	1,522	884
増減率	25.2%	67.5%	81.0%

※上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

### 2. 業績予想の修正理由

当中間期においては、プリンシパル投資事業、ファンド事業、インベストメントバンキング事業のすべてのセグメントにわたって、順調に事業を拡大することができました。

連結売上高は当初予想どおりとなる見込みですが、利益面では、特にプリンシパル投資事業について、小型不動産投資部門が堅調に推移していることに加えて、沖縄県最大の建設会社である株式会社國場組の再生支援が大きく進展した結果、一部前倒しを含め債権回収益が大きく拡大したことにより、当初予想を上回る見通しとなりました。

これらを踏まえ、当中間期連結業績については、売上予想 11,100 百万円 (前回発表予想比 3 百万円増)、経常利益予想 2,650 百万円 (前回発表予想比 664 百万円増)、中間純利益予想 1,750 百万円 (前回発表予想比 278 百万円増) と修正します。

なお、単体業績につきましては、小型不動産投資の売却対象物件の入れ替えによる売却金額の変更等があったため、売上予想 9,600 百万円 (前回発表予想比 1,056 百万円減) と修正致しますが、利益面では、上述のとおり好調に推移したことから、経常利益予想 2,550 百万円 (前回発表予想比 558 百万円増)、中間純利益予想 1,600 百万円 (前回発表予想比 457 百万円増) と修正致します。

なお、平成19年12月期通期業績については、堅調なプリンシパル投資事業に加えて、ファンド部門で大型物件の売却が進んでいること、ソリューション部門を中心としたインベストメントバンキング事業も当初想定通り展開していること等から順調に推移すると見込まれますが、不確定要素等もあることから、従来どおりの予想を据え置くことと致します。

以上